

はじめに

当資源循環コンソーシアム*は、産業界や大学の技術シーズを活用しつつ、産業界のニーズに応える技術開発を行う産学連携活動の基盤を整備し、東北地方における資源循環の枠組みの構築とともに、新産業や雇用の継続的創出を目指して以下の組織で活動を行っている。

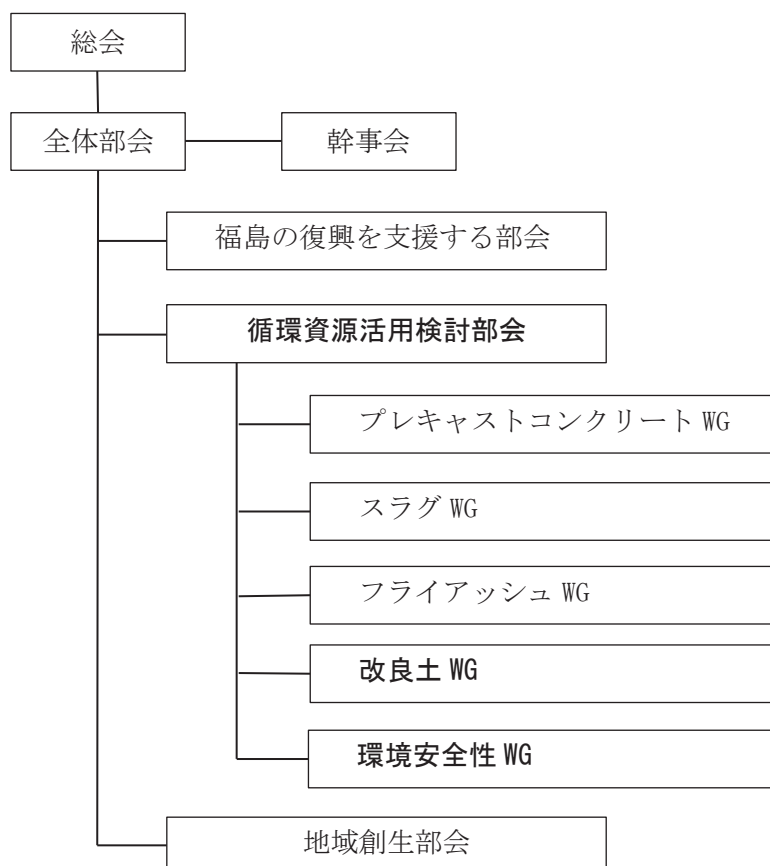


図-1 資源循環コンソーシアムの組織

本技術資料集は、循環資源活用検討部会のうち改良土 WG、並びに環境安全性 WG の共同作業による合同成果物として作成した。その内容は、主に東北地方において産出され、本来有効利用に供される可能性があるにも拘らず、未だ利用されていない、もしくはその利用量が甚だ少ない産業副産物について、新たな資源として有効利用するための開発・利用の現状や、さらなる利用拡大に向けて留意すべきポイントについて取りまとめたものである。

本書が、事業者側にとって産業副産物を有効利用促進するための検討の一助となり、また、排出者側にとっては新たな利用に向けた課題解決のための行政側との協議に際し、資料作成等で、大いに役立つものと期待している。